

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は、2015年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項に準じて行われる。

2. 競技者の招集方法について

- (1) 招集所は、雨天走路内100mスタート側に設ける。
- (2) 招集開始時刻・完了時刻は、その競技開始時刻を基準とし、下記の通りとする。

最終点呼は招集所で実施する。

競 技 種 目	集 合 開 始 時 間	集 合 完 了 時 刻
トラック競技	競技開始の30分前	20分前
フィールド競技	競技開始の50分前	40分前
棒 高 跳	競技開始の90分前	80分前

- (3) 混成競技は、両日とも第1種目競技は招集場で競技者係に最終点呼を受ける。
それ以外については、トラック競技は競技開始20分前までに、フィールド競技は競技開始30分前までに混成控室にて最終点呼を受けること。
- (4) 最終点呼では、胸・背・腰のナンバーカード、スパイク、商標、バックなど競技場への持込み物品などの確認と点検を受ける。
- (5) 最終点呼は代理人は認めない。ただし、2種目同時に出場する場合は、競技者係及び、各関係部所の審判に連絡を必ず入れること。<2種目同時出場届けを招集所に提出のこと>
- (6) 棄権する場合は、各種目招集開始時刻前までに『棄権届』を招集所に提出し、招集場の招集用紙に×を付ける。(棄権届は招集所に置いてある。
招集完了時刻に遅れた場合は、当該種目を棄権したのものとして処理する。(その後、棄権届を提出)
混成競技の場合、次の種目からの出場はできないものとする。
- (7) リレーのオーダー用紙の提出時刻は、第1組目の招集完了時刻1時間前までに招集所に提出すること。
(オーダー用紙は招集所に用意する。)

3. ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは胸・背部につけ、トラック種目に出場する競技者はレーンナンバーを招集所から受け取り、右腰部にも付けること。なお、跳躍競技の競技者は背または胸部のどちらか一方でもよい。
- (2) 長距離種目は、競技者係から配布されたレーンナンバーを胸・背・腰に使用すること。

4. 競技について

- (1) トラック競技はすべて写真判定装置を使用する。
- (2) トラック競技のレーン順は、フィールド競技の試技順はプログラム記載順による。
- (3) プロ訂正用紙及び事前に棄権がわかっている者は、本大会規定の用紙に必要事項を記入し、大会前日の午後16時00分までか、大会当日の午前8時00分までに大会本部へ提出する。
- (4) 長距離種目は、参加人数によりグループスタート制を採用する。
- (5) トラック種目で、予選の参加人数により予選を中止し決勝のみ実施することがある。その場合は決勝時間競技を実施する。

(6) スタート合図はイングリッシュコマンドで実施する。不正スタートについては新ルールを適用する

5. 競技方法について

(1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は以下の通りとする。(天候等により変更もありうる)

		練習	①	②	③	④	
走高跳	男子	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	以降 5cmずつ上げる
	女子	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	以降 5cmずつ上げる
走高跳(混成)	男子	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	以降 5cmずつ上げる
	女子	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	以降 5cmずつ上げる
棒高跳	男子	3m60	3m80	3m90	4m00	4m10	以降 10cmずつ上げる
	女子	2m20	2m40	2m50	2m60	2m70	以降 10cmずつ上げる
棒高跳(混成)	男子	2m40	2m50	2m70	2m90	3m00	以降 10cmずつ上げる

*棒高跳の支柱移動希望は現地で審判に報告すること。

(2) 三段跳の踏切位置は競技運営上、次の通りとする。 男子12m・女子10m

*走幅跳・三段跳とも粘土板の使用は行わない。

6. 競技用具

- 競技に使用する用具は、全て主催者が用意したものを使用しなければならない。
ただし棒高跳用ポールは、個人所有のものを使用できる。
- 投てき用具については、公表された競技場備え付け用具リストにないものは持ち込みを認める。
希望者は、当該種目の招集開始2時間前から1時間前までにゴール側用器具庫内で検査を受ける。
ただし、検査に合格した用具は一括借り上げとし、参加競技者で共有できるものとする。
競技終了後に担当総務員が、ゴール側用器具庫内で返却するので取りに来ること。
- フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは、主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。個人の所有物は使用できない

7. 表彰について

種目別表彰は、その都度行う。3位までの入賞者は当該競技終了後、ただちに表彰控所(玄関ホール)に集合して下さい。

8. 練習会場と日程

- 練習は、原則として本競技場・補助競技場および雨天走路を使用し、「練習会場使用日程表」に従うこと。
- 投てき種目の練習会場は、投てき練習場とする。ただし砲丸投は補助競技場(コーン仕切内)のみとする。
(注)練習会場の投てき用具は各自で持参したものを使用すること。
(注)投てき練習が行われた場合は、他の選手はコーン仕切内でのアップは禁止する。

9. その他

- 競技中に発生した傷害については、応急処置のみ主催者側で行うが、その後の責任は負わない。
医務室は本競技場玄関ホールの横に設置する。(熱中症対策をしっかりと行うこと)
- ビデオ装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で使用することや所持することは助力とみなすので、最終点呼を受けた後は、使用したり、所持はしないこと。失格の対象となる。
- 応援旗・部旗・横断幕・のぼり旗などは、スタンド最上段を利用すること。
<スタート後方、ゴール前方は避けること>
- 競技場内での助力は禁止する。スタンドからの助言については競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げになってはならない。また、勝手に当該競技場所を離れてはならない。
- 集団応援などは、正面スタンドからは禁止とし、サイド及びバックスタンドの中断より上からは許可するが、フィールド競技中に近くでの応援は禁止する。
- テントの設置は補助競技場芝生内(練習に支障のない場所)かスタンドの中段より上で設置すること。
本競技場内および補助競技場内の雨天走路内での休憩場所としての場所取りは禁止とする。
- 混成競技に参加する選手の休憩場所は、本競技場内トレーニング場に設置してある。
- チーム・個人で出されたゴミは、全て各自で責任を持って持ち帰ること。
- トレーナーサービスコーナーは本競技場内雨天走路に設置する。

貴重品の管理を各自・各チームでしっかり行い、不審者がいた場合は早急に大会本部へ連絡ください。